

2012年1月4日

平成24年 年頭挨拶

株式会社インターネットイニシアティブ
代表取締役社長 鈴木 幸一

新年明けましておめでとうございます。

IIJは、設立20周年を迎えました。

弊社を設立したのは1992年です。バブルが崩壊したのは1991年、「失われた20年」とされる時代に、IIJは成長し、IIJの設立とともに、商用ベースでのインターネットの普及が始まりました。日本のインターネットは、まさに、「失われた20年」の時代に発展し、いまや情報通信の基盤インフラとして定着し、あらゆる社会の仕組みを変え続けています。

この20年、アメリカの主要産業がIT産業に移行している状況に比し、日本の産業転換は、後退りをしながら、辛うじて、将来にわたって新たな産業を牽引していくエンジンとなっている「インターネット」という巨大な技術革新を認知し、少しずつ、その対応を図っているに過ぎないようです。

人、商品、資本が国という枠組みを超えて、グローバルに移動し、世界の産業の枠組みそのものをダイナミックに変化させる時代、国境を持たず、安価で大容量の情報を自由に行きかわすことができる「インターネット」という技術革新は、あらゆる世界の枠組みを変える意味では、その流れを激しく加速させる原動力ともなっています。

オープンで誰もが参加できるネットワークの仕組みは、歴史的にも比較できない程の大きな可能性を秘めているとともに、当然のことながら、技術的な課題、負の側面があることは周知のことです。にもかかわらず、「インターネット」は今後も、進化、発展を続けていくに違いありません。

20周年を迎えたIIJは、「インターネット」の可能性を拡大させるための技術的な貢献を図るとともに、技術的な課題の解決、負の側面に対する対応など、インターネットが、安全かつ安心して使える情報通信基盤として利用できるよう、一層の努力を重ねることで、社会に貢献していく所存です。

以上